

令和4年度 第2回二宮町図書館協議会 会議録

開催日時	令和4年10月7日 金曜日 14時00分から15時15分まで
開催場所	二宮町生涯学習センター マルチルーム1
出席者	森英夫教育長、石井敬士会長、桐岡眞澄副会長、相澤るつ子委員、 内山留美委員、塚越幸雄委員
事務局	椎野教育部長、竹本生涯学習課長代理兼図書館長、込山図書館班長、 川村図書館班主事
欠席者	伊庭しげみ委員、中西美保委員、三宅栄子委員
その他	傍聴者なし

※ 会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議記録

(司会・竹本生涯学習課長代理兼図書館長)

1. 開会

2. 挨拶

森教育長より挨拶

石井図書館協議会長より挨拶

3. 議題

(1) 図書館利用状況等について

事務局より、利用状況等について資料に基づいて報告

(会長)

貸出冊数や予約・リクエスト件数の増加は、貸出冊数を増やした影響ですか。

(事務局)

貸出冊数は5冊から8冊になっての影響と捉えています。予約・リクエスト件数については令和2年度からそれまでは行っていなかった在庫資料への予約ができるようになったので、そこから大きく伸びています。現在は1日に2回在庫資料を棚から持ってくるという作業をしていますが、平日は40冊から50冊を回収して用意します。休館日を挟むと多いときは100冊近い冊数の予約が入っていることがあるので、前年の同時期と比較すると伸び続けている印象です。

(会長)

利用者数はどこも減っているので色々工夫していますが、それに対して二宮は元々需要が高いから工夫してあげるともっとよくなるのではないかと思います。

(教育長)

映像ブースについてはニーズとしてそろそろ整理したほうがよいという時期が来ていますので皆さんのご意見を伺えればと思っています。

(会長)

視聴覚ブースというのは恐らくどこも減少してきていると思います。ブースの利用状況をみて体制を検討して、スペースをブースでない活用を検討していただきたいと思います。

視聴覚は時代とともに機器が変わっていき対応が難しいので、そういったことを踏まえて先行きを見ながら決めていったほうがいいかもしれません。

(2)「令和4年度図書館の主な取組・事業」の取組状況について

事務局より、令和4年度図書館の主な取組・事業の取組状況について資料に基づいて説明。

(会長)

メールサービスについて詳しく教えてください。

(事務局)

新しいメールサービスとして「利用カードの有効期限のお知らせをします」というメール送信を始めました。カードを作った日から5年の日付が有効期限としていて、更新手続きとして住所の確認をさせていただいています。有効期限はカードに書いていないので、有効期限が近づいた方にはカウンターで貸出手続き時にお知らせしていましたが、久しぶりに利用をされた方は「有効期限が切れているので手続きをしてください」ということが度々あり、それをお知らせできないかということで始めました。内容は、有効期限をお知らせして、カウンターで手続きをくださいというご案内です。それから、予約の本を待っている間に有効期限が切れてしまったということがあるので、予約の本が用意できたときのメールにも、有効期限が近づいたり切れていることのお知らせを入れるようにしました。

元々行っている「返却期限をお知らせします」というメールや条件やジャンルを指定しておく、新着図書のお知らせを受取るメールに追加したサービスということで、より便利になりました。

(委員)

資料2-1の小中学生にすすめたい本の発行、配布というのは本を渡すのではなくてその題名などのパンフレットを渡すということですか。

(事務局)

本ではなくA3両面刷りパンフレットの配布です。作成は小中学校の図書担当の先生に協力いただいています。小中学校の児童・生徒と関係者におよそ1,800部配布しました。

(委員)

すすめたい本は何冊くらいあるのですか。

(事務局)

低学年向け、中学年向け、高学年向けで各6～7冊、中学生向け6～7冊でそのほか毎年戦争や平和の本を4冊程度掲載しています。

(委員)

私は新聞などでこんなにおもしろいのがあるのかっていうのを見て買うことがありますが、子ども達の反応はどうでしょうか。

(事務局)

掲載した本は夏休み期間に子どもの本コーナーとティーンズコーナーで展示をします。それだけだと少ないので夏の定番として掲載した本の他にすすめたい本として展示する本もあります。展示していると子どもが自発的に手に取って借りていくこともありますし、夏休みに子どもに本を読ませたい保護者からどんな本がよいかという相談を受けることがあると「すすめたい本」を紹介します。読書感想文の課題図書を置いているのですがすぐに借りられてしまうので、課題図書でない本から選ぼうとしているときにも紹介しています。

(委員)

選ぶときの基準のようなものは図書館の独断ではなくて子どもたちの意見を聞いているのでしょうか。

(事務局)

子どもたちの意見ではなく、職員と町立小中学校5校の図書室担当の先生と学校図書室の指導員のどちらかからおすすめする本を選んで紹介コメントを書いていただきます。学校からあがってくる本の中で町図書館に所蔵していないものは、購入してからおすすめ本として紹介しています。

(委員)

逗子か鎌倉あたりで子ども達がおすすめ本を書いていた時に、子ども同士の説得力ってすごいなと思いました。子ども同士の推薦だと大人目線で推薦されるよりも読みたくなると思いますが、そのような取組はされないのですか。

(事務局)

近い取組として、二点あります。一点目は、二宮高校の生徒が自身のおすすめ本を書いた書店にあるようなPOPを作っていますが、そのPOPを借りて、町図書館にある本とあわせて一緒にティーンズコーナーで展示することを行っています。高校生から高校生へのおすすめを紹介するという取組になります。

二点目としては、ティーンズコーナーの充実ということで、オンラインで中学生と意見交換会を実施する予定になっていますが、その際に中学生に好きな作家やおすすめの本、最近読んだ本などを聞いて意見交換をして、どんな本があったら図書館に来てみたいと思うかなどを聞いていこうと考えています。その中で情報が得られたら購入を検討して、購入したときは意見交換会で上がった本ですというような形で紹介をしていって利用につなげていきたい考えです。10月に二宮中学校との意見交換を予定しており、間に合えば二宮中学校と意見交換をした結果、「おすすめの本を購入したので図書館に借りにきてください」というような内容で12月に出すティーンズ版の図書館だよりに掲載して配布します。

(委員)

子ども達が発信したものを受け止めてくれるというのが効果的であるし、子ども達が本離れしてしまうと今のいろいろな問題で行き詰ったときにスマホしかないものすごく狭くなってしまいます。

(教育長)

学校では朝読書を定期的に行っていて、本を読む時間というのを設けて必ず1冊持ってきてもらって読むようにしています。あと小学校でも行っていますが中学校に入っても読み聞かせをおはなし会の方に来ていただいています。

学校のほうに図書館のからも本を何十冊か持ち込んでいますがその選定はどのようにされていますか。

(事務局)

二宮中学校では、学期ごとに1回ずつ1週間、朝読書するという取組をされています。自分で読む本を持ってきてもらうようにしているのですが、忘れてしまった生徒用に生徒が読める本を町図書館から提供するよう依頼を受けています。毎回60冊くらいをその期間に合わせて出しています。職員と子ども本とティーンズ担当の8名で5冊くらいずつ選んでいます。学期に1回あるので前回出しているものと同じ本にならないようにする他、マンガではなく読み物をとということを言われていますので様々なジャンルから選ぶようにしています。手に取られるか分からないけれど政治関係のようなものも入れてみます。

読みなれていない生徒のために小学校高学年向けの読み物からも出してみたりして選んでいます。

(会長)

オンライン意見交換会の対象はどなたでしょうか。

(事務局)

今回は中学校ごとの図書委員を対象ということで軌道にのれば学校以外でもできる可能性もあるかもしれませんが、まずは中学校からと考えています。二宮中学校が10月に、二宮西中学校が3学期頃ということで学校の先生とはお話しています。

インターネットで繋いでオンライン会議ということであらかじめ写真を撮っておいて画面にだすことができるので、ティーンズコーナーの紹介をしてから中学生の生の声を聞いていきます。

(委員)

オンラインというのは、子どもたちが持っているタブレットで参加するのでしょうか。

(事務局)

今回、二宮中学校では先生が準備する端末の大画面で参加をするやり方で先生から聞いております。可能であれば1人1台のタブレットでめいめいに参加という形も可能性としてはあるのかなと思いますが、今回は初めてなので先生も繋いでもらって順番に話してもらおうと思っています。

(会長)

今後も継続して、中学、高校生に対して意見交換をやっていくということでしょうか。

(事務局)

コロナ禍前は夏休みに図書館に来てもらって両中学校合同で実施していました。高校生のインターンシップと同日でしたのでインターンシップの高校生にも入ってもらって、ティーンズコーナーを見学したあと別室に集まって行っていました。コロナ禍でできなくなってしまいました。まずはオンラインが再開の第一歩としています。

夏休みに顔を合わせてやるというのは大きなメリットであると思いますが、一方で日程調整がづらいということもあります。いずれにしても実際にやってみて何が見えてくるかなということも動きたいと思います。

(会長)

青少年の利用が減少している中で直接生徒に聞いてもらおうと参考になるかと思っています。

(委員)

オンライン意見交換会の具体的な日程を教えてください。

(事務局)

今年は中学生を考えているので、10月20日に二宮中学校、二宮西中学校は3学期で計画中です。

(3)その他

事務局より、生涯学習課主催事業について案内

(会長)

その他特になければ、進行を事務局へお返しします。

(生涯学習課長代理兼図書館長)

石井会長ありがとうございました。

次回の図書館協議会は2月の開催を予定しておりますのでよろしくお願いします。

7. 閉会

15時15分閉会